

只木ゼミ後期第9問

甲は、令和元年11月11日22時頃、友人乙と飲みに行き、翌12日2時頃帰宅したが、あまりに遅い甲の帰りに腹を立てた甲の妻が、甲が家の鍵を持っていないのを知りつつ玄関の鍵をかけて寝てしまっていた。そこで甲は、2階の窓から自宅に入ることを思い付いた。警察官Aは警ら中に、塀をよじ登っている甲を発見し、甲を泥棒と思い現行犯逮捕した。甲は、逮捕されるいわれはないと考えたため、逮捕される際に、Aから逃げるためにAを突き飛ばした。その結果Aは転倒し、右手首を骨折した。

甲の罪責を検討せよ。